

令和7年度第1回岡崎市地域包括支援センター・地域密着型 サービス運営協議会議事録

1 日 時

令和7年7月28日（月）午後2時～午後4時

2 場 所

岡崎市福祉会館 201号室

3 出席委員

柏原正尚委員、鈴木正博委員、小澤竜三委員、鈴木基広委員、竹本達司委員、茂刈稔委員、樋田宣行委員、奥村直子委員、子安由美子委員、檀広実委員以上10名

4 欠席委員

なし

5 事 務 局

福 祉 部：青山部長

ふくし相談課：伊奈課長、寺西副課長、鈴木地域支えあい係係長、早川主査、浅野主査

長 寿 課：山本副課長、石原予防係係長

介護保険課：野々山課長、天野副課長、渡邊事業所指定係係長、藤井主査、杉浦主査

6 報 告

(1) 地域包括支援センターの運営について【公開】

(2) 地域密着型サービス事業所の指定状況について【公開】

7 議事録（要旨）

－報告(1)について－【公開】

報告(1)について事務局より説明

会長 予算、決算についてご意見ございますか。

会長 次の包括の実績報告についていかがでしょうか。

壇委員 表3の相談内容の短期集中サービスがなくなったというのは、令和6年から横棒になっているが、やり方が変わったということでしょうか。

事務局 短期集中通所サービスは、選択する際に介護予防なのか一体化に関することなのか迷ってしまい、人によって選択するものが異なったり、複数の項目を選択するかたもいましたので、他の項目でカウントするようにしました。

会長 今後なくなっていくということですね。

事務局 項目としてはなくなります。

- 会長 重複カウントを減らすようにということですね。
表5の直営のABCの違いは何でしょうか。
- 事務局 ABCは総合事業の介護予防ケアマネジメントという項目になり、福祉用具や訪問看護等が含まれる予防給付から報酬が出る介護予防支援と区別して表記をしています。総合事業は市町村に裁量のある事業で、介護予防給付と介護予防ケアマネジメントを分けて計上していますが、利用者にとってはケアプラン作成を受けていることは同じです。
- 会長 できれば、初年度変わったところは、強調又は事前説明があるといいと思います。ふじと南部が0ですが理由はありますか。
- 事務局 転記漏れになります。
- 会長 再送付は無くてもいいと思いますが、次年度の際には、実績が分かるといいと思います。
- 鈴木正委員 2ページ表3の相談内容のことで、若年は若年性認知症なのか。
- 事務局 若年性認知症になります。若者は高齢者以外に関することになります。重層的支援体制整備事業の開始に伴い、年齢に関係なく相談を対応しているので、65歳未満の場合は高齢者以外に計上することになります。
- 会長 ダブルカウントは無しですか。認知症に関することはダブルカウントですか。
- 事務局 認知症はダブルカウントになります。案件ごとにカウントの仕方に悩んでいるところです。
- 会長 包括毎にカウントの仕方が違うと問題だと思います。年度の途中で変更は難しいと思うので、年度替わりで検討していただいて、次の会議などで言ってもらえればと思います。
- 壇委員 岡崎東は、市民ホームで相談をやっていると書いてあるが、北部のセンターはやっていなくて、それぞれの地域にできれば出向いてやってもらえるといいなと思う。北部はやっていないので、市として方針があるのでしょうか。
- 事務局 記載項目が重点事項なので、全てを記載していないことをご理解ください。北部に関しては、記載のとおり、防災の取組、養成講座など地域に出向くことが多いのでそこで対応しています。
- 壇委員 できるだけ外に出て相談を受けていただければと思います。
- 会長 地域に任せていると千差万別になってくるので、差が見えるといいと思いますが、全部は難しいので、出張相談について、わかりやすかったと意見があったということを伝えてもらえるといいと思います。
- 会長 3ページ成果指標に3%増加などあるがそこまで細かく書く必要があるのか、回数で書いてあると、目標として、イメージが沸くと思うんですが、数%まで書かなくてもと思います。

事務局 アウトプットとアウトカムで、実績ではなく効果として知っている割合を指標としたと思います。アウトカムの指標については苦慮しており、なるべく数値の方が分かりやすいと思い、数値目標を立てています。立て方については、職員研修を行っており、わかりやすい評価になるように考えています。

会長 全戸調査ではないのでアンケートの結果に差も出るのですこまで気にしないでいいのではと思います。地区ごとに分けると差が出やすいと思います。26 ページ以降ですが、新規項目については、色の反転や網掛けがあるとわかりやすいと思います。

竹本委員 人員基準としては三職種配置することでしょうか。社協の0.5保健師は1人工でカウントされるのでしょうか

事務局 担当学区が愛宕ですが、3000人以下なので、2人工配置です。昨年度運営協議会で三職種は常勤換算での配置を認めていただいています。

竹本委員 他の包括でも三職種ないがどうでしょうか。ケアマネが減少して、主任ケアマネ更新研修が大変と聞きますが、国などに要望を出せないでしょうか。

事務局 更新研修の受講要件が厳しくなっており、受講要件にあたる研修を市で2回、ケアマネ部会で3回行ったり、講師となる研修を包括で行ったりしています。

会長 配置していない場合は減額されるのでしょうか。

事務局 人員が欠けた場合は委託料の減額になります。代替りの職種であれば2割減額になどなるべく三職種以外の職種を配置できるように運用しています。

会長 人員がいなくても業務はしているので、インセンティブをつけるなど工夫したり、他の自治体で参考になるような人材確保策はないのでしょうか。

事務局 岡崎市は比較的先進的で、三職種以外の配置や複数包括での連携事業なども行っており、他自治体ではあまりない珍しい取り組みをしています。行政の専門職も確保が難しいので、この地域で確保するのが難しい状況になっており、包括の職員が継続してくれることを目標にして、人材育成について法人の負担が少ないように研修などを行っています。

樋田委員 3 ページは計画なののでしょうか。実績の上の項目では、活動実績、下は事業計画に対するものなのでしょうか。

事務局 計画書兼報告書になっています。

会長 包括毎にフォーマットが様々になっているので、より分かりやすいものがあれば事務局までお伝えください。

茂刈委員 実際、包括との相談事はこれ以上に大変なので、評価できる体制があればと思いました。

－報告(2)について－【公開】

会長 ご質問ご意見ありますでしょうか。

鈴木正委員 朝食、夕食の時間帯に一人というのは、嚥下障害の誤嚥や窒息などを考えると危険ではないでしょうか。ヒヤリハット報告は指導監査時に見ていますか。

事務局 ヒヤリハット報告は運営指導時に確認しています。朝食及び夕食の時間帯は複数人配置されていることになります。

鈴木正委員 政府は、高齢者の住まい確保に向けて低料金で入居できるシェアハウスを整備するとしていたが、額田地区ではそのような計画はあるのか。

事務局 今のところ聞いていません。

会長 食事の準備をされているのに、職員配置が一人というのもどうなのかと心配になりましたので委員の皆様には様々なご意見をいただけたらと思います。

 丁寧なご説明をいただいたので、次回ヒヤリングもよろしく願います。